

青山小だより

平成30年度 NO.6

発行日 平成30年 10月2日

港区立青山小学校 校長 下城 英和

tel.03-3403-5588 fax.03-3403-5589

mail : aoyama-es@minato-tyky.ed.jp

HP : <http://aoyama-es.minato-tyky.ed.jp/>

灯火親しむ候—読書の秋

副校長 高須賀俊秀

記録的な猛暑の夏がようやく終わりを告げ、秋の訪れを感じるようになりました。木々の葉が色づき始め、さわやかな風にひらひらと舞い落ちています。すっかり日の入りが早くなり、宵闇の静けさの中に虫の声が響きます。

そんな秋の夜長、本を開いてみるのはいかがでしょうか？成長期の子供たちにとって、もちろん大人にとっても読書を通して得られるものがたくさんあります。

【より賢くなれる】—本を読むことによってたくさんの言葉、知識を得ることができます。“新しいことを知る”ことはとても嬉しいことです。深く考える力も身に付きます。

【心を豊かにしてくれる】—主人公になり切ってワクワクドキドキすることでその人生を体験し、筆者との対話によって自分の考えを深めたり広げたりすることができます。そうしたことを通して“想像力”を高めることができます。

【集中力が高まる】—子供たちには“夢中になる”経験が大切だと思います。お話に引き込まれて時間も忘れて没頭する。それが子供たちの集中力につながると思います。

【楽しみの時間になる】—本を読んでいる時が一日の中で“楽しみな時間”となります。子どもにも大人にもそんなほっとするひと時が必要です。

その他にもたくさんありますが読書の効用と堅苦しく考えず、楽しみとして生活の中に取り入れてほしいと思います。“いつも読みかけの本を手元に置いておく”ことで本を読む習慣が付き、読書の楽しみを継続できると思います。

「どんな本を選んだらいいの？」という声も聞きます。こんな選び方はいかがですか？

【図書館の本紹介コーナーを見る】—学校図書館では図書委員会による“おすすめ本”があり、RASさんが季節に合わせてコーナーを作ってくれています。区立図書館も子供向けの本をたくさん用意していますので参考にしてください。

【友達と紹介し合う】—友達に好きな本やおすすめを聞く。自分の好みと合うことがよくあります。自分の好きな本を貸してあげたりして友達関係が広がることもあります。

【読み聞かせの本を読む】—本校では月に一回、保護者の皆様による読み聞かせを実施しています。お便りに全学級で読んでいただいた本の紹介がありますので、お気に入りの一冊が見つかるかもしれません。

その他にも『青山小のトライブック、チャレンジブックを制覇する』『ドラマ・映画の原作を読む』『気に入った作家を追いかける』・・・いろいろな方法で本を選び、読書の幅を広げることができます。

今月22日から校内の読書週間が始まります。27日から11月9日までは全国秋の読書週間です。この機会にご家族で本の世界に浸ってみてはいかがでしょうか。